

新!

くまむら議会だより

119号
2025.11.25

新しい「松本橋」

もくじ

9月定例会	2
一般質問	6
子ども議会	10
編集後記	12

令和6年度一般会計「歳出」決算額は、

約67億6千9百万円

第7回定例会が、9月4日から12日までの9日間の日程で開催されました。

初日は、令和6年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について報告があり、続いて日隠啓一代表監査委員より、令和6年度一般会計及び特別会計決算審査の結果報告、その後、認定5件、議案5件が上程されました。

議会では、監査委員の報告を受け決算審査特別委員会を設置し、2日間にわたり、各課から令和6年度成果報告書に基づき説明を受けました。審査の結果、全員一致で原案の通り認定すべきと決定しました。

一般質問は5名の議員が通告書に基づき登壇。最終日には、継続審議となっていた請願書の採決が行われ、その後、議員発議により「行政運営の検証に関する調査特別委員会」の設置が決まりました。

【認定】

- 令和6年度球磨村一般会計決算の認定
 - 令和6年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定
 - 令和6年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定
 - 令和6年度球磨村介護保険特別会計決算の認定
 - 令和6年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定
- (各会計の決算額は別表のとおり)

【条例】

- 球磨村議会議員及び球磨村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- * 国の選挙公営単価改訂に合わせ、球磨村議会議員、村長の選挙における選挙運動用ヒラ及びポスター印刷に係る公費負担額を引き上げるもの。

【予算】

- 令和6年度球磨村一般会計補正予算について
- 補正予算の主なものは、
- 財産管理費の委託料に塚ノ丸団地における案内看板の設置等470万9千円。
- 児童福祉総務費で過疎地域の保育所における保育機能確保・強化のためのモデル事業補助金874万4千円
- 農業振興費で農業生産条件が不利な田畑の区画整理に対する村独自の補助金1,283万3千円を計上
- 森林環境費に森林環境整備補助金1,007万7千円を計上。
- 河川改良費で高沢地区清水川の護岸工事に係る費用350万円。

補正額2億4,216万7千円を追加し、歳入歳出予算総額58億3,146万8千円となる。

【請願書】

- 人吉市医師会からの「人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願」については、「趣旨採択」
- 一般社団法人くまむら山村活性化協会からの「法人解散の清算金の支払いに関する請願書」については、「不採択」

議員発議

「行政運営の検証に関する調査特別委員会」を設置
6月定例会で提出した辞職勧告決議の中で示した5項目について、全く進展していない項目があり、また新たに法令違反に該当すると思われるような事案も発生していることから、村政に関する問題を一つひとつ解決していく必要があると考え、「行政運営の検証に関する調査特別委員会」を設置した。

委員長 宮本 宣彦議員
副委員長 永椎樹一郎議員

9月定例会 審議した議案等とその結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
報告第5号	令和6年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	8	0
認定第1号	令和6年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第2号	令和6年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第3号	令和6年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第4号	令和6年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
認定第5号	令和6年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定	8	0
議案第48号	球磨村議会議員及び球磨村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	8	0
議案第49号	令和7年度球磨村一般会計補正予算について	撤回		
議案第50号	令和7年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決	8	0
議案第51号	令和7年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決	8	0
議案第52号	工事請負変更契約の締結について	原案可決	8	0
議案第53号	令和7年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	8	0
請願書	人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願	趣旨採択	8	0
	法人解散の清算金の支払いに関する請願書	不採択	8	0
発議第6号	行政運営の検証に関する調査特別委員会設置に関する決議について	原案可決	8	0

(採決の人数は、議長を除く8名)

※議案第49号については、スクールバス購入費用について再考するという事で議案を撤回し、この項目を削った上で、議案第53号として計上し、可決。

どなたでも傍聴できます。

9月定例議会の傍聴人数は延べ**36人**でした。

※会議録は「球磨村ホームページ」→「行政情報」→「球磨村議会」→「会議録（一覧ページ）」で閲覧できます。

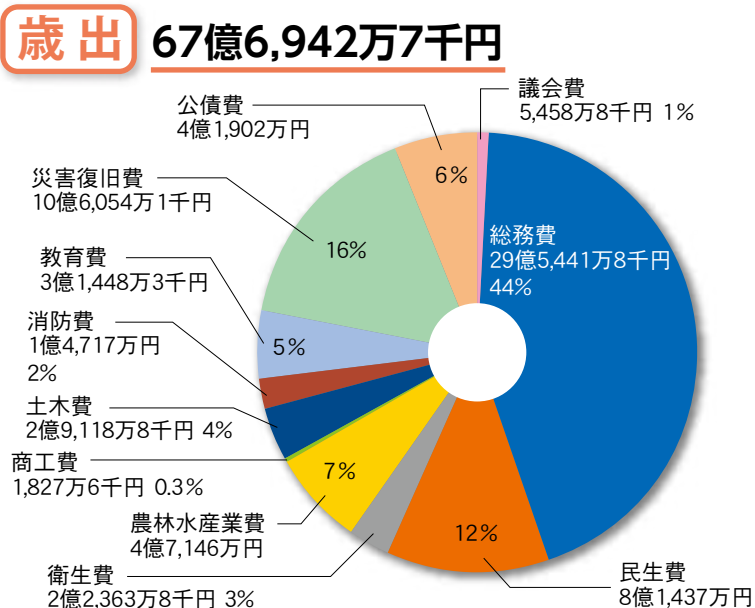
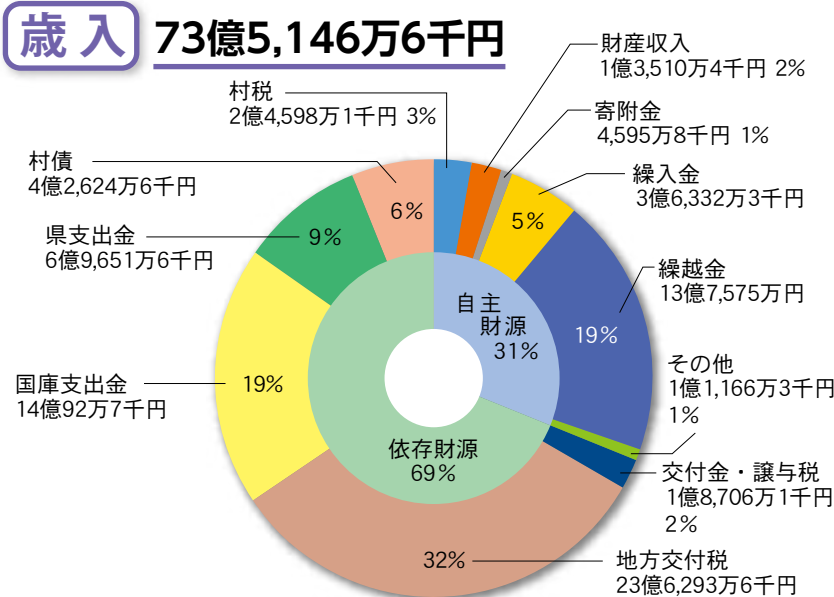
令和6年度一般会計及び特別会計決算を認定

～決算審査特別委員会で審議～

令和6年度一般会計及び特別会計の決算について、日隠啓一代表監査委員より決算審査の報告を受け、議会に認定のため決算審査特別委員会を設置し審議しました。

審査日程については、9月4日に正副委員長を選任し、5日及び8日に、執行部関係者から説明を受け審議にあたり、本会議の審議において認定することに全員一致で可決しました。

また、審査報告書において、今後も復興が進む中で、一つひとつの事業を再度見直し、適正な予算の執行をお願いするとともに、議会決算審査特別委員会より出された指示事項については、検討で終わることなく、改善につながるような対応をお願いするとの意見が出されました。



注意：決算書に基づく金額を記載

令和6年度球磨村一般会計決算の内訳（左図）

令和6年度一般会計決算については、歳入財源の比率は、村税等からなる自主財源が約31%、国・県支出金等の依存財源は約69%となっています。

歳出決算額は、前年度に比べ約24億1,788万円減少しており、主要要因としては災害復旧事業が進んだことにより、土木費や災害復旧費にかかる支出が大幅に減少しています。

令和6年度一般会計及び特別会計の決算額

	歳入額	歳出額
一般会計	73億5,146万6千円	67億6,942万7千円
国民健康保険特別会計	5億4,632万円	4億7,452万8千円
後期高齢者医療特別会計	5,632万3千円	5,612万3千円
介護保険特別会計	7億8,873万5千円	6億6,162万5千円
簡易水道特別会計	2億2,326万4千円	1億6,051万1千円
合計	89億6,610万8千円	81億2,221万4千円

※千円以下は端数調整をしていますのでご了承ください。

決算審査特別委員会 委員長報告

委員長 永椎 樹一郎

歳入について

1 健全な財政運営を図るためには、自主財源の確保が重要であり、特にふるさと納税の貴重な財源については、増額につながるよう全庁的に取り組むこと。

2 税、使用料などの徴収については、職員の徴収努力により未収金も減少しているところであるが、今後も公平・公正な観点から、関係各課連携のもと、確実な徴収を実施すること。また、実績については執行部にも適宜、適切に報告すること。

3 基金の状況については、令和6年度においては3億4千700万円の積み増しが行われているが、将来的には年々減少していく状況である。今後、復興にかかる様々な事業も計画されていることから、長期的な財政計画のもとで適正な運用に努めること。

歳出について

1 一般会計では、令和6年度

においても、復旧復興に関連する予算が増加しているが、補助金の支出については、事業の用途、内容等の現状を把握し、どのような効果があったのかを検証した上で、事業の推進に努めること。

2 予算を効率的・効果的に執行するため、執行状況の確認に留意し、財源の有効活用と適正な事業執行に努めること。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険特別会計においては、健康増進事業に尽力されている。今後も、財政状況との関連も含め、各特別会計事業が連携、連動し、高齢者のいきがいづくりや健康教室、ふれあいサロン等の介護予防事業、更には生活習慣病予防事業等により健康寿命が延びるように更なる事業の推進を図ること。併せて、一般会計と同様、事業の効果を検証し、適正な予算執行に努めること。

簡易水道特別会計においては、来年度から企業会計に移行する。公営企業として独立採算制が原則であるが、料金改定については、村内の簡易水道、地区簡易水道、給水施設それぞれの利用者のことも考慮して検討

し、持続的な簡易水道事業に努めること。

最後に、今後も復興が進む中で、一つひとつの事業を再度見直し、適正な予算の執行をお願いいたします。

職員におかれましても、通常業務に加え、復旧復興に関連する業務が多く、大変であることは承知していますが、事業の効果や村民の望む幸福度につながっているか検証を行い、職員一人ひとりが喫緊で最大の課題である、人口減少対策、少子高齢化対策など山積する課題解決に向かっていく体制、加えて職員と執行部が常に課題を共有し、どう解決していくか、風通しの良い行政運営に取り組みされるようお願いいたします。

今回の決算審査特別委員会は、成果報告書に基づきどのような成果があったかを基本的に審査しました。その中で、示した指摘事項については各課において、検討で終わることなく、改善につながるような対応をお願いいたします。

9月定例会の一般質問には5人の議員が登壇し、村への提言や質問を行いました。
※紙面の都合により、質問と答弁を要約した内容を登壇順にお知らせします。

5人の議員が登壇 一般質問

村の考えを問う

永椎樹一郎 議員
(7ページ)

- 1 村政運営
 - ① 辞職勧告決議書に基づく検証統投表明後の改善策及び対応策
 - ② 一勝地温泉かわせみ未払金問題
 - ③ くまむら山村活性化協会への対応
 - ④ 人事異動後の職員への配慮
 - ⑤ 職員に対する発言後の信頼回復
 - ⑥ 義務教育学校一体型校舎建設
- 2 村政不信
 - 村民及び職員との信頼回復、不信感解消、村政に対する姿勢、発信

西林 尚賜 議員
(7ページ)

- 球磨清流学園一体型校舎建設について
- ① 一体型校舎の建設場所
 - ② 学校施設検討委員会の設置
 - ③ 村民、保護者等への周知、説明

田代 利一 議員
(8ページ)

- 1 人口減少抑制政策について
 - ① 少子化対策と地方創生について
- 2 魅力ある教育について
 - ① 「球磨村ならではの教育」について

板崎 壽一 議員
(8ページ)

- 1 辞職勧告決議について
 - ① 議会が示した5つの項目について
- 2 少子高齢化について
 - ② 少子化対策は

高澤 康成 議員
(9ページ)

- 1 第6次総合計画後期基本計画
 - 災害からの復旧・復興には安定的な公的財源の確保が必要です。後期計画に掲げる施策を着実に進めるうえで自主財源の強化・現実的かつ安定策の取り組みについて伺います。
- 2 農業振興
 - 地域資源を活かした村づくりにおける農業の振興において「みどりの食料システム戦略」は日本の農林水産省が2021年5月に策定した持続可能な食料システムの実現に向けた中長期戦略です。地球温暖化対策や生物多様性の保全を背景に環境負荷を減らしつつ農林水産業の生産力を確保することを目的としています。現在の取組状況と今後の取り組みについて伺います。

一般質問とは

村のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて、村の現状や方針を問うものです。会議録は議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧いただけます。

辞職勧告決議、村民に対する説明責任、村政に対する姿勢は

村長 一つひとつしっかり向き合い、多くの皆様の声に耳を傾け、最善を尽くしていく。

説明責任

問 説明責任がリーダーには必要。辞職勧告決議、村民に対して説明責任、信頼回復、村政に対する姿勢等、なぜ情報発信を早急に行わなかったのか。

村長 皆さんが集まるような場所、例えば座談会等で報告させていただければと思っっている。一つひとつしっかり向き合い、最善を尽くしていく。

村長

言われたタイミングでは村の方針、どう進めていくのか、村の判断が出来ていなかった。現在、未払金の状況を調査している。

人事異動

問 業務上の問題解決のため、4月からたった2ヶ月間で人事異動を行った。異動した職員をまた元の課に戻した。職員のモチベーション、気持ちを考えることがあるか。

村長 職員にとってモチベーションの低下や辞職に至る可能性があることを改めて認識した。よりよい人事が実施できるように慎重に行っていく。

「かわせみ」未払金

問 「かわせみ」の指定管理を解除する時、未払金があるのではないか。再三、確認をするよう申し入れをしたが、確認をせず後回しにした理由、経緯は。



永椎 樹一郎 議員

職員の不信感解消

問 不適切な事務処理を行ったとして、職員が戒告処分を受けた。この事案について当時の上司は現在の副村長である。責任についてどう思っているのか。

副村長 決算関係、ちゃんとした管理監督が出来ていなかったことに反省をしている。

問 部下である職員が処分を受けたのであれば、当然、上司である副村長、村長も何らの処分を受けなければならぬと思うが。

村長 最終的な責任というのはいくらも取らなければならぬが、われわれの処分については考えていない。

一体型校舎の建設場所を変更する最大の理由は

村長 限られた財源の中で、財政収支の均衡が得られるよう総合的に判断した

一体型校舎の建設

問 球磨清流学園の一体型校舎建設場所について候補地の渡地区から一勝地区への方針転換の最大の理由は。

村長 候補地の渡地区への建設は、校舎を含め施設の多くを整備する必要があり、将来的な財政負担が大きく、本村では、少子高齢化が進む中、復旧復興のみならず、限られた財源で多種多様なニーズに対応していく必要がある。将来にわたる安定した財政運営を見据え、財政収支の均衡を得られるよう、総合的に判断した。

安全性の確保

問 これまで村長、執行部は一勝地区

区への学校建設は、安全性の確保、アクセス道路の改良、かさ上げ等々の対策に莫大な費用が必要であり、安全性が保てないと言ってこられたが、今後の見通しは。

村長 学校施設の安全性確保というのには大きな課題、ハードルが高いと思う。今後、開催される「学校施設検討委員会」の中でも協議されると思うが、今、考えられることは、早期避難、早期の学校休校などソフト面の対応をしっかりと考えていく必要がある。

説明責任

問 一体型校舎建設に関する住民説明会が開催されたが、多くの住民は参加されていない。方針を転換



西林 尚賜 議員

されたならば、村長は住民へ説明責任がある。また、教育長は保護者、教職員、必要であれば児童生徒へ説明が必要と考えるが。

村長 住民説明会が一勝地区の体育館のみの開催となったが、今後、さまざまな機会に説明が必要だと考える。やはり中心となるのは座談会を開催し、財政面を含め、全てにおいて説明責任を果たしていく考えである。

教育長 保護者、教職員を含め、早いうちから説明をしたい。保護者に関しては、座談会あるいはPTAの会合を通じて説明していく。



後期計画に掲げる自主財源の強化、現実的かつ安定策の取組みは

村長

歳出削減、経済成長の促進といった手段を組み合わせ、ふるさと納税等の自主財源の確保や適正な賦課徴収を図ることが必要である

第6次総合計画 後期基本計画

問

球磨村では少子高齢化により人口減少が進み、住民基盤が脆弱化し、若年層の流出も続く一方で、高齢者人口の割合が増加し、福祉・医療の需要が増加している。自治体の財政負担は増大する一方、税収が減少するという悪循環に陥っている可能性が出てきており、地域経済の規模も小さく、自立が難しく、依存的財源に頼らざるを得ない状況である。安定的財源確保の観点から、後期計画に掲げる施策を着実に進める上で、自主財源の強化、現実的かつ安定策の取組みは。

村長

歳出削減、経済成長の促進といった手段を組み合わせ、ふるさと納税等の自主財源の確保や適正な賦課徴収を図ることが必要である。また、使用料、手数料、寄付金、財産収入など自主財源を増やすことで、自主性と安定性が高まり、財政基盤の確保につながるかと考える。

問

中長期財政ビジョンの中で、学校建設において46億円かかるという予算を含まない中で、令和9年度には歳入と歳出が逆転をし、歳出のほうを上回っていくという見通しである。一体型校舎建設を合算したときの見通しを総務課長は把握しているか。

総務課長

令和10年度に学校建設46億円相当を渡地区に造るということであれば、起債による元利償還金を令和11年から令和35年までの25年間払い続けなければならぬ。例えば令和17年度においては、公債費が9億2,000万円ほど発生するということになり、借金返済である割合が全体需要の24%に当たる。財政的にはこの46億円という概算であるが、渡に造ることによって、今後の住民サービス、20年、30年後の住民サービスが低下するおそれが高いというところが見て取れる。

高澤 康成 議員

行政運営の検証に関する 調査特別委員会

令和7年10月1日に第1回、令和7年10月23日に第2回の行政運営の検証に関する調査特別委員会を球磨村議員控室にて開催しました。

主な議題は

- ①千寿園の無償貸付について
- ②辞職勧告決議に示した5項目の回答について

の2点で、執行部より提出のあった資料を基に調査し、意見交換を行いました。

①の「千寿園の無償貸付について」は、村の普通財産を建物と駐車場を一体的に貸し付けたことに対して、議会は駐車場は有料が基本なので、議決が必要であったとするのに対し、執行部からは村の対応は適切であったと考えるが、議会の理解が得られていないことも認識しているため、今後、関係者の意見を聞きながら判断していくとの回答。

②の「辞職勧告決議に示した5項目の回答について」では、一勝地温泉かわせみにおける債権者への未払い金の問題について協議を行い、執行部からは、以前議会に示した弁護士から提示のあった3つの方法と補助金については、いずれも実施が不可能であり、現時点では(株)トラックセッションと事業者のやり取りの中でしか解決できない、との回答。

かわせみについては、債権者への対応と、来年度からの新しい指定管理について協議が必要であること、①の千寿園の無償貸付についても疑義があることから、第3回の調査特別委員会において再度協議を行うこととして閉会しました。



球磨清流学園9年生による子ども議会を開催

令和7年10月9日、未来を担う子どもたちが復旧・復興に向けた教育環境や地域の問題、むらづくり等について学習し、未来の球磨村について考える機会とすることを目的として、球磨村子ども議会が開催されました。

球磨清流学園の9年生が「球磨村の未来を考える」をテーマに質問し、村長や担当課長が真摯に答弁を行いました。

生徒は6班に分かれて一般質問を行い、前半の議長を高澤凰嘉さん、後半の議長を大岩凌さんが務めました。

球磨村の未来を、若い世代ならではの視点で考えた一般質問の中から抜粋した質問と答弁を掲載します。

1班

上野魁晟さん、大無田琥太郎さん
濱田瑛太さん

- ① 災害時の避難路について
- ② 交通網の復興状況について
- ③ ゼロカーボン創出状況について



1班

JR肥薩線は令和15年度の再開を目標に路線の地質調査が行われており、くま川鉄道については、全線の運行再開時期は令和8年度上半期中を目指すとされています。

2班

糸原向日葵さん、大岩凌さん
木屋航さん、中塚環さん
那良皇生さん

- ① 学校教育の充実について
- ② 文化の充実について



2班

【質問】 校舎の老朽化に対策が必要だと感じています。村としてはどういった考えですか。

【松谷村長】 児童生徒の皆さんの教育環境をよりよくするため、一体型校舎の建設に向け、今後、検討委員会の中で検討していきます。

3班

大瀬琥士朗さん、大山楓雅さん
久保田有菜さん、高沢清斗さん
和田楓愛さん

- ① 高齢者対策について



3班

【質問】

公共交通機関であるコミュニティバス、JR肥薩線、くま川鉄道の復興状況を教えてください。

【松谷村長】

コミュニティバスは村内6路線と国道を走る産交バスがあり、現在、全て運行しています。

【質問】 球磨村のアートポリス事業でみんなの家が作られました。ユニバーサルデザインを取り入れられていますか。

【松谷村長】 みんなの家は、現在渡と神瀬に整備していますが、ユニバーサルデザインを取り入れています。

今後、清流学園の一体型校舎整備や渡地区に建設予定の道の駅建設についても、ユニバーサルデザインを取り入れ、快適に使えるように整備していきたいと考えています。

4班

坂田穂花さん、椎屋敬太さん

地下礼琉さん

① 球磨村の産業について

【質問】 林業従事者の人材育成も兼ねて職場体験や植林体験とは別に、児童生徒が林業という仕事を学べる場を作ってはどうか。

【松谷村長】 村では、森林教室やふれあい祭りなどのイベント会場で木工体験コーナーを設けて啓発活動をしています。清流学園での森林教室は、来年以降皆さんの興味

を更に引き出せる内容となるように計画していきます。



4班

5班

長野晃大さん、日當大琥さん

平野千麗さん、山口美鈴さん

① 観光地の充実について

② 遊水地エリアの活用について

【質問】 村の観光地は、球泉洞の他にも熊野座神社や一勝地といった縁起のいい神社などをブログを使ってもっとアピールするのいいと思います。どのような取り組みをされますか。

【復興推進課長】 村ではホームページをはじめInstagramやティックトックなど様々なSNSを活用しています。球磨村のマスコットキャラクター球磨太郎のティックトックも開設していますので、登録してご家族でご覧ください。



5班

6班

牛塚裕理さん、小谷美桜さん

部佑真さん、高澤鳳嘉さん

松舟直太郎さん

① 少子化対策について

② 遊水地公園について

【質問】 遊水地公園を建設予定と聞きましたが、その施設には子どもが遊べる遊具は設置されるのですか。

【松谷村長】 遊水地への設置はできませんが、現在旧渡小学校跡地に計画を進めている道の駅や復興祈念公園の敷地内に遊具を設置できないか、検討を進めているところです。



6班

くまづ

球磨清流学園 6年生



令和7年度の球磨清流学園6年生は16人です。「十人十色」を学級目標に掲げています。この目標には、「多様性を認め合い、互いの個性を尊重し合えるクラスにしたい」「一人ひとりがそれぞれの得意を生かして自分の色で輝いてほしい」という思いが込められています。16人全員が目標を意識しながら生活し、日々成長しています。

6年生担任 吉田 楓 先生

柴田 奏音さん

球磨清流学園の6年生は一人ひとり個性豊かです。

そして普段から発表を積極的に行っています。

修学旅行で命や平和の尊さを学んで、球磨清流学園に帰ってきました。これからも命や人を大切に、過ごしたいです。

谷口 加桜さん

6年生は、とても元気で明るく個性豊かです。行事や日々の毎日を学級全員で協力し、色々なことを乗り越えてきました。だから、とても仲がいいです。これからももっと仲を深めていきたいです。

編集後記

われわれ議会は、先の6月議会定例会において、山積する重要事項について、しっかりと課題解決が図られていくのかなどとし、執行部に対し重い決断として辞職勧告決議案を決議したところです。

リーダーとは、「決断すること」「説明すること」「責任をとること」が重要だと思っています。

災害に強い村づくり、村民が安全に安心して暮らせる創造的復興、将来ビジョンの明確化、失われた信頼の回復など、村政に対する姿勢が問われるなか、使命感、危機感をもって村政運営に取り組んでもらいたいと思っています。

今後も村民が望む「幸せ」を追求し、全力で丁寧に取り組んでいかなければならないと思っています。

永椎 樹一郎

議会広報特別委員会

委員長	板崎 壽一
副委員長	西林 尚賜
委員	宮本 宣彦
委員	永椎 樹一郎

■球磨村世帯数:1,327世帯 ■男:1,233人 女:1,328人 人口:2,561人(令和7年11月1日現在)

発行 熊本県球磨郡球磨村議会
編集 議会広報対策特別委員会

〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地
TEL (0966) 32-1111 FAX (0966) 32-1230
印刷/協和印刷